

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】令和2年9月17日(2020.9.17)

【公表番号】特表2020-523911(P2020-523911A)

【公表日】令和2年8月6日(2020.8.6)

【年通号数】公開・登録公報2020-031

【出願番号】特願2019-569485(P2019-569485)

【国際特許分類】

H 04 W 76/15 (2018.01)

H 04 W 72/04 (2009.01)

H 04 W 16/26 (2009.01)

【F I】

H 04 W	76/15	
H 04 W	72/04	1 1 1
H 04 W	16/26	

【手続補正書】

【提出日】令和2年6月25日(2020.6.25)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

無線通信方法であって、

通信ネットワークにおける第1ノードと第2ノードを動作させるステップであって、前記第1ノードはマスタノードであり、前記第2ノードはセカンダリノードであり、前記第1ノードまたは前記第2ノードのうち一方は、PDCPエンティティが配置されるパケットデータ変換プロトコル(PDCP)サブレイヤを有するデータ無線ペアラ(DRB)のためのアンカーノードであり、前記第1ノードまたは前記第2ノードのうち他方は、前記DRBのための非アンカーノードである、ステップ、

前記アンカーノードにより、サービス品質(QoS)フローと前記DRBとの間のマッピング関係を決定するステップであって、前記マッピング関係は、前記PDCPサブレイヤ上に配置された前記アンカーノードの別のエンティティによって管理される、ステップ、

前記アンカーノードにより、前記QoSフローと前記DRBとの間の前記マッピング関係を前記非アンカーノードに対して送信するステップ、

を有することを特徴とする方法。

【請求項2】

前記DRBは、第1ノードセルグループのためのペアラを有することを特徴とする請求項1記載の方法。

【請求項3】

前記DRBは、第2ノードセルグループのためのペアラを有することを特徴とする請求項1記載の方法。

【請求項4】

前記DRBは、第1ノードセルグループと第2ノードセルグループとの間のスプリットペアラを有することを特徴とする請求項1記載の方法。

【請求項 5】

前記方法はさらに、
前記アンカーノードにより、ペアラのD R B識別子（ID）を決定するステップ、
前記アンカーノードにより、前記D R B IDを前記非アンカーノードに対して送信するステップ、
を有する
ことを特徴とする請求項1記載の方法。

【請求項 6】

前記方法はさらに、
前記第1ノードにより、利用可能D R B IDを決定するステップ、
前記第1ノードにより、前記第2ノードを追加することを開始するステップ、
前記第1ノードにより、前記利用可能D R B IDを前記第2ノードに対して送信するステップ、
を有する
ことを特徴とする請求項1記載の方法。

【請求項 7】

前記方法はさらに、
前記第1ノードにより、前記第2ノードが開始した変更リクエストを受信するステップであって、前記変更リクエストは、1以上の新規D R Bの追加または1以上の既存D R Bの削除を含む、ステップを有する
ことを特徴とする請求項1記載の方法。

【請求項 8】

無線通信システムであって、
通信ネットワークにおける第1ノード、
前記通信ネットワークにおける第2ノードであって、前記第1ノードはマスタノードであり、前記第2ノードはセカンダリノードであり、前記第1ノードまたは前記第2ノードのうち一方は、P D C Pエンティティが配置されるパケットデータ変換プロトコル（P D C P）サブレイヤを有するデータ無線ペアラ（D R B）のためのアンカーノードであり、前記第1ノードまたは前記第2ノードのうち他方は、前記D R Bのための非アンカーノードである、第2ノード、
を備え、
前記アンカーノードは、

サービス品質（QoS）フローと前記D R Bとの間のマッピング関係を決定するステップであって、前記マッピング関係は、前記P D C Pサブレイヤ上に配置された前記アンカーノードの別のエンティティによって管理される、ステップ、

前記QoSフローと前記D R Bとの間の前記マッピング関係を前記非アンカーノードに対して送信するステップ、

を実施するように構成されている
ことを特徴とするシステム。

【請求項 9】

前記D R Bは、第1ノードセルグループのためのペアラを有する
ことを特徴とする請求項8記載のシステム。

【請求項 10】

前記D R Bは、第2ノードセルグループのためのペアラを有する
ことを特徴とする請求項8記載のシステム。

【請求項 11】

前記D R Bは、第1ノードセルグループと第2ノードセルグループとの間のスプリットペアラを有する
ことを特徴とする請求項8記載のシステム。

【請求項 12】

前記アンカーノードは、
ペアラのD R B識別子(I D)を決定するステップ、
前記D R B I Dを前記非アンカーノードに対して送信するステップ、
を実施するように構成されている
ことを特徴とする請求項8記載のシステム。

【請求項13】

前記第1ノードは、
利用可能D R B I Dを決定するステップ、
前記第2ノードを追加することを開始するステップ、
前記利用可能D R B I Dを前記第2ノードに対して送信するステップ、
を実施するように構成されている
ことを特徴とする請求項8記載のシステム。

【請求項14】

前記第1ノードは、
前記第2ノードが開始した変更リクエストを受信するステップであって、前記変更リクエストは、1以上の新規D R Bの追加または1以上の既存D R Bの削除を含む、ステップを実施するように構成されている
ことを特徴とする請求項8記載のシステム。